



公共下水道事業会計

令和3年度決算の概要について

収益的収支（3条予算） 【税抜き】

- 当該年度の企業の経営活動に伴い発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用を計上します。

（単位：円）

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
下水道事業収益	5,888,851,088	6,114,626,837	△225,775,749	98.1%
営業収益	4,168,320,830	4,161,352,825	6,968,005	97.9%
営業外収益	1,701,498,608	1,842,220,944	△140,722,336	98.5%
特別利益	19,031,650	111,053,068	△92,021,418	94.8%

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
下水道事業費用	5,682,353,461	6,007,505,505	△325,152,044	94.7%
営業費用	5,326,579,659	5,585,135,725	△258,556,066	94.8%
営業外費用	336,626,777	375,477,951	△38,851,174	95.1%
特別損失	19,147,025	46,891,829	△27,744,804	80.9%
純利益	206,497,627	107,121,332	99,376,295	—

収益的収支のポイント①

■ 下水道事業収益

事業収入の総額：58億8,885万1,088円（前年度比2億2,577万5,749円の減）

◎主な収入：下水道使用料 32億3,337万6,236円（1,955万5,873円増）

◎主な増減要因：長期前受金戻入の減少（1億893万6,080円減）

過年度損益修正益の減少（9,202万1,418円減）

■ 下水道事業費用

事業費用の総額：56億8,235万3,461円（前年度比3億2,515万2,044円の減）

◎主な費用：減価償却費 27億2,622万1,799円（2,053万1,785円増）

◎主な増減要因：資産減耗費の減少（1億5,057万5,053円減）

⇒前年度に比べ、除却対象資産が減少したため。

流域下水道管理運営費負担金の減少（7,533万466円減）

⇒前年度に比べ、処理水量が減少したため。

収益的収支のポイント②

▶ 収益的収支

純利益：2億649万7,627円（前年度比9,937万6,295円の増）

⇒ 主な要因は、下水道施設の改良に伴う除却資産が減少し、
資産減耗費が減少したこと。

▶ 1 m³当たりの使用料単価と処理原価（本市基準）の比較

使用料単価－処理原価：96.23円－89.03円＝7.20円の差益

使用料単価：有収水量 1 m³当たりの下水道使用料

処理原価：有収水量 1 m³当たりの汚水処理費用

差益が出ている

⇒ 汚水処理にかかる費用を使用料でまかなえている

資本的収支（4条予算） 【税込み】

- 市民に対するサービスの提供を維持するための諸施設の整備、更新など建設改良のための支出とその財源となる収入を計上します。

(単位：円)

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
資本的収入	682,921,003	963,493,127	△280,572,124	76.3%
企業債	354,000,000	555,900,000	△201,900,000	59.0%
国庫補助金	116,780,000	97,970,000	18,810,000	100.0%
受益者負担金	32,665,850	38,494,040	△5,828,190	99.0%
分担金	42,824,110	65,849,880	△23,025,770	460.5%
他会計負担金	72,477,943	69,433,407	3,044,536	99.8%
他会計補助金	63,890,000	135,433,000	△71,543,000	100.0%
工事負担金	283,100	396,300	△113,200	—
固定資産売却代金	0	16,500	△16,500	—

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
資本的支出	3,026,880,525	2,922,496,418	104,384,107	84.1%
建設改良費	1,845,425,628	1,735,638,147	109,787,481	76.5%
企業債償還金	1,181,454,897	1,186,858,271	△5,403,374	100.0%
資本的収支の不足額	2,343,959,522	1,959,003,291	384,956,231	—

資本的収支のポイント①

■ 資本的収支

資本的収入：6億8,292万1,003円（前年度比2億8,057万2,124円の減）

⇒対象事業の減少に伴う、企業債及び他会計補助金の減少など。

主な収入：企業債 3億5,400万円（2億190万円減）

資本的支出：30億2,688万525円（前年度比1億438万4,107円の増）

⇒污水管渠整備事業の増加、

継続事業（上下水道管理センター監視制御設備更新事業）の精算など

主な支出：企業債償還金 11億8,145万4,897円（540万3,374円減）

資本的収支の不足額：23億4,395万9,522円（前年度比3億8,495万6,231円増）

※不足額の補填財源

・消費税資本的収支調整額

⇒4条収支における消費税の差額：1億2,948万9,230円

・損益勘定留保資金

⇒減価償却費など現金支出を伴わない3条費用等：22億1,447万292円

資本的収支のポイント②

工事の様況

汚水管渠整備事業：2,945m、4地区約17.23ヘクタール

（新河岸第9処理分区汚水枝線築造工事（その1）等）

汚水管渠改良事業：更生工事400m

（管路施設耐震化工事（その1）等）

岸町一丁目下水道管路施設更生事業：合流管更生工事242m

（新河岸第8-2処理分区下水道管路施設更生工事）

● 予算では、汚水管渠整備事業を3,051m施工予定

⇒ 予定していた事業をおおむね実施することができた。

収益的収支と資本的収支の関係 (3条予算と4条予算)

3条予算



内部留保資金

損益勘定留保資金、
消費税資本的収支
調整額

減債積立金、建設
改良積立金、未処
分利益剰余金

4条予算

資本的収入

企業債、補助
金、負担金な
ど

内部留保資金
による補填

資本的支出

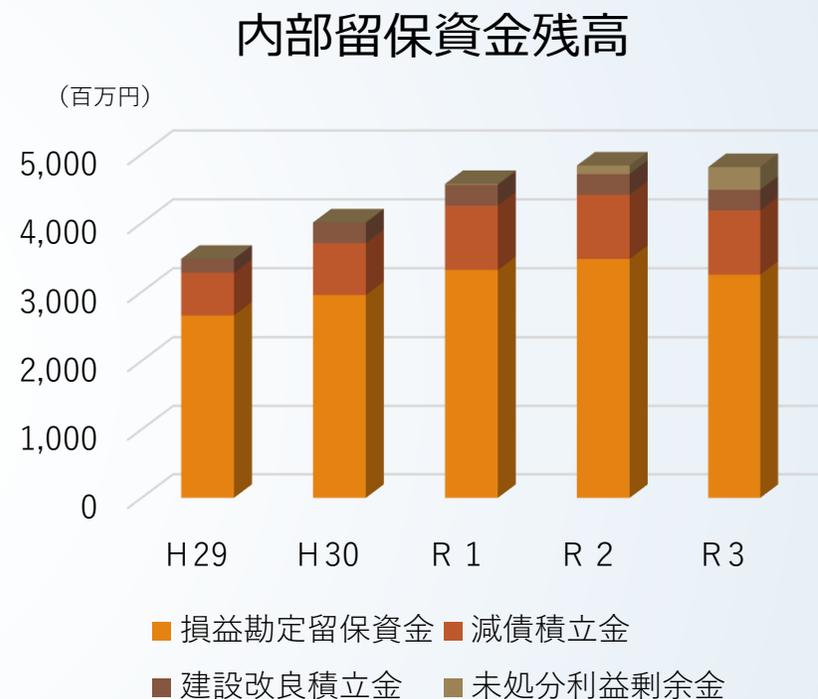
工事請負費、
企業債元金の
償還など

企業債残高と内部留保資金残高の推移



▶ 企業債残高（建設改良のための借金）

減少傾向にあり、H29からR3の5年間で約31億円減少しています。



▶ 内部留保資金残高（建設改良のための資金）

H29からR2の4年間で約13億円増加していますが、R3は前年度とほぼ同水準です。

令和3年度決算のまとめ

■ 収益的収支

- ・ 前年度より資産減耗費等が減少したため、純利益が増加した。
- ・ 支出の多くを占める減価償却費は、資産の取得により確定する費用であるため削減することは難しい。
- ・ 今後も不明水対策としての調査費や修繕費などの支出を確保する必要がある。
- ・ 今後は、将来を見据えた適正な使用料水準等について検討していく。

■ 資本的収支

- ・ 企業債残高は順調に減少していて、今後も減少傾向が見込まれる。
- ・ 今後も管渠の耐震化や更生工事などに多くの資金が必要となる。